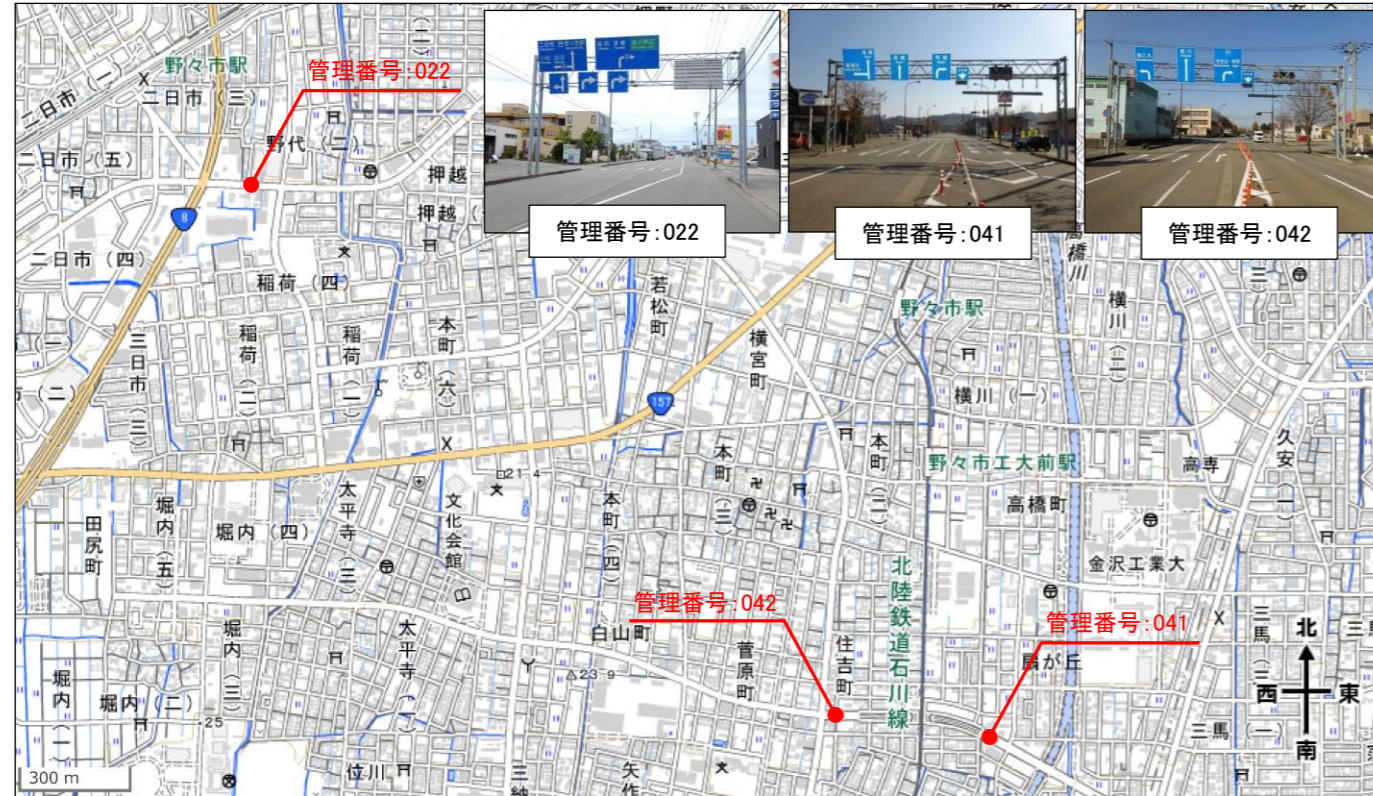


# 野々市市門型標識長寿命化修繕計画（令和4年9月）

## 1. 長寿命化計画の目的

○ これまでの事後保全型の修繕から、早期に劣化損傷を見つけて対処する予防保全型の維持管理に転換し、長寿命化によるライフサイクルコストの縮減を図り、道路交通網の安全・安心を確保する。

## ■ 施設位置



## 2. 健全性の把握に関する基本的な方針

○ 健全性の把握に関する基本的な方針  
健全性については、定期的に点検を実施し、各施設の劣化損傷状況を4段階で評価する。  
点検要領については、「門型標識等定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局」を基本とし、詳細については「石川県附属物（標識、照明施設等）点検要領 令和2年3月」に基づく整理を行う。

## ■ 「門型標識の健全性の定義」

区分	定義
I 健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II 予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III 早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV 緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている。または生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

## 3. 定期点検結果

番号	管理番号	種別	路線名	設置年	経過年数	緊急輸送道路	点検実施年	施設毎の健全性	部材の健全性					
									支柱	横梁	標識板等	基礎	プラケット	その他
1	022	道路標識	I級幹線泉野野々市線	不明	-	該当なし	2018年	II	II	II	I			
2	041	道路標識	市道高尾郷線	不明	-	第二次	2021年	II	I	II	II			II
3	042	道路標識	市道高尾郷線	不明	-	第二次	2021年	II	I	I	II			I

## ■ 各部材の劣化損傷状況

部材および点検箇所		管理番号																	
		022						041						042					
部材等	点検箇所	き裂	ゆがみ・変形	破断	腐食	変形・欠損	部材の健全性	き裂	ゆがみ・変形	破断	腐食	変形・欠損	部材の健全性	き裂	ゆがみ・変形	破断	腐食	変形・欠損	部材の健全性
支柱	支柱本体	a			c	a	II	a			a	a	I	a			a	a	I
	支柱内部																		
	支柱基部	a			a	a	II	a			a	a	I	a			a	a	I
横梁	横梁本体	a			a	a	II	a			a	a	II	a			a	a	I
	横梁取付部	a	a	a	c	a	II	a	a	a	c	a	II	a	a	a	a	a	I
	横梁トラス本体	a			c	a	II	a			a	a	II	a			a	a	I
	溶接部・継手部	a			a	a	II	a			a	a	II	a			a	a	I
標識板等	標識板	a	a	a	a	a	I	a	a	a	a	a	II	a	a	a	a	c	II
	標識板取付部	a	a	a	a	a	I	a	a	a	a	c	II	a	a	a	a	c	II
	道路情報板							a	a	a	c	a	II	a	a	a	a	a	II
その他	配線部分							a			a	a	II	a			a	a	I
	管理用の足場・作業台							a	a	a	a	a	II	a	a	a	a	a	I
	配電盤							a			c	a	II	a			a	a	I

a : 損傷が認められない  
c : 損傷が認められる  
e : 損傷が大きい  
■ : 該当なし

## ■ 劣化損傷写真



## 4. 長寿命化に関する基本的な方針

○ これまでの事後保全型から予防保全型の維持管理に転換することにより、門型標識の長寿命化および修繕・更新に係る費用の縮減を図る。

## ■ 維持管理水準の設定

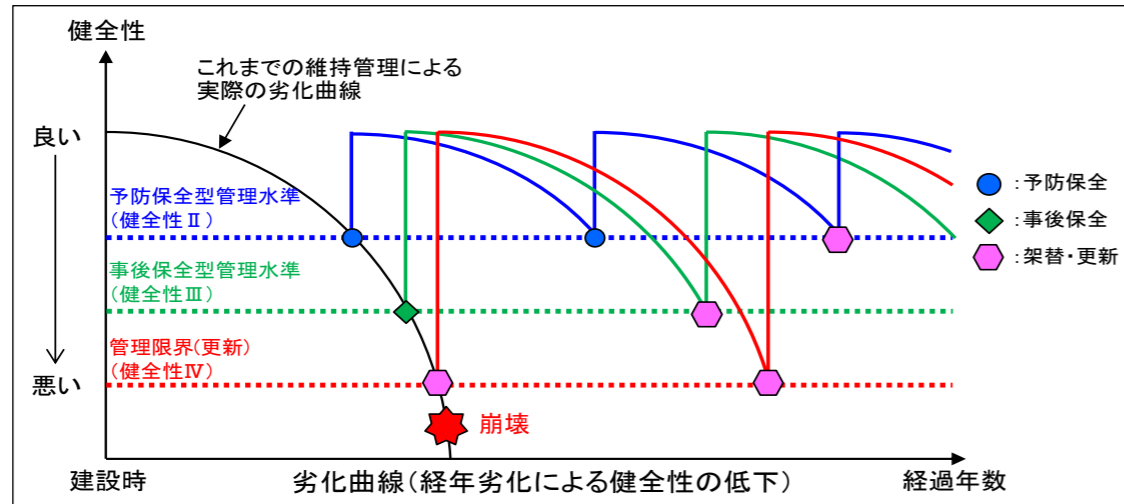
健全性	実施内容
良	I 定期点検
	II 補修検討 (予防保全)
	III 早期補修 (事後保全)
悪	IV 大規模補修 更新

— 維持管理水準

## ■ 補修優先順位の設定

- 1 段階: 施設毎の健全性 (I ~ IV) が悪い施設を優先
- 2 段階: 緊急輸送道路に該当する施設を優先
- 3 段階: 同順位の場合に健全性が悪い部材が多い施設を優先

## ■ 「予防保全型維持管理のイメージ」

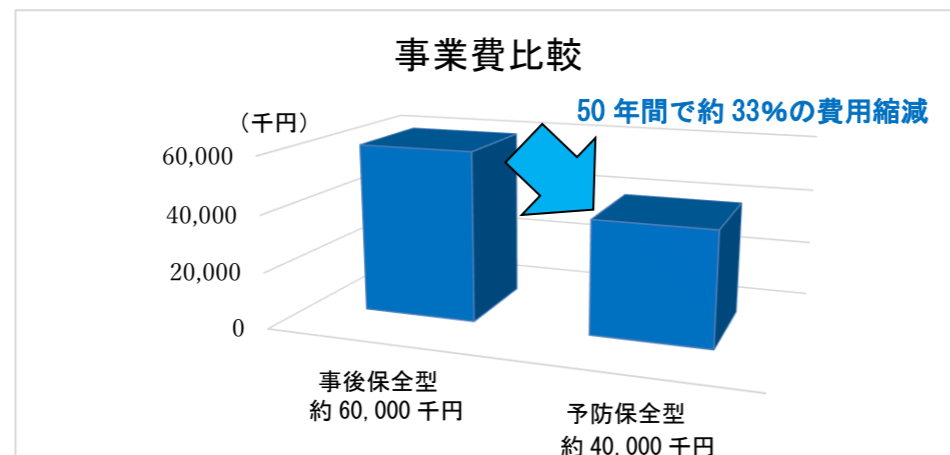


## ■ 補修工法

対策実施健全性	部 材						道路情報提供装置
	①支柱	②横梁	③標識	④ブラケット	⑤基礎		
II (小補修)	樹脂シート 	塗装塗替 	あて板 	塗装塗替 	コンクリート部材 ひびわれ注入 	銅部材 ナット交換 	-
III (中補修)	炭素繊維シート 	部分取替 	部分取替 	補強材取付 	断面修復 	ナット交換 	-
- (更新)	更新						更新

## ■ コスト削減の効果

施設の維持管理を予防保全型へ転換することにより管理費用の削減を図ることができる



## 5. 新技術等の活用方針

○定期点検や修繕等の実施にあたり、「点検支援技術性能カタログ (案)」等に掲載されている技術の採用を検討し、費用削減や事業の効率化に取り組む。

## 6. 費用の縮減に関する基本的な方針

○本計画に従い計画的な修繕を実施することで長期的な維持管理に必要な費用の縮減を図るとともに、新技術や新材料等の活用により更なる事業の効率化・費用の縮減に取り組む。

## 7. 修繕の実施方針

前述の優先順位設定に従い以下の順位で対策を実施する。

- ①管理番号 041 市道高尾郷線 (横梁・標識板の修繕 2024年 [概算事業費: 3百万円])
- ②管理番号 042 市道高尾郷線 (標識板の修繕 2025年 [概算事業費: 2百万円])
- ③管理番号 022 市道1級幹線泉野野々市線  
(支柱・横梁の修繕 2026年 [概算事業費: 4百万円])

※工法の選定においては新技術等の適用を十分に検討しさらなるコスト削減に取り組むこととする。

## 8. 次回点検実施年度

番号	管理番号	種別	路線名	設置年	経過年数	緊急輸送道路	次回実施年
1	022	道路標識	1級幹線泉野野々市線	不明	-	該当なし	2023年
2	041	道路標識	市道高尾郷線	不明	-	第二次	2026年
3	042	道路標識	市道高尾郷線	不明	-	第二次	2026年

## 9. 短期的な数値目標及びコスト削減効果

### ■ 新技術の活用

○令和5年度から令和9年度までの5年間で3施設すべてに対して新技術を活用した点検・修繕を実施し、費用を2百万円程度削減することを目指す。

### ■ 集約化・撤去

○令和9年度までに、管理する3施設すべての門型標識について施設の集約化・撤去などの検討を社会経済情勢や周辺の道路整備状況、点検・修繕にかかる中期的な費用等を考慮し実施する。また、標識の表示内容を検証し、門型式から維持管理しやすい片持式への転換することを3施設に対して検討する。片持式への転換により補修工事費について約2百万円程度の削減を目指す。